

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

共通

電源が入らない。

- ・電源コードをしっかりと差し込む。
- ・乾電池を正しく入れる。
- ・乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

音が出ない。

- ・ファンクションスイッチを正しい位置にする。
- ・音量を調節する。
- ・ヘッドホンを(ヘッドホン)端子から抜く。

CD部

演奏が始まらない。

CDが入っているのに「ミミ」が表示される。

- ・CDぶたが閉まっていることを確認する。
- ・CDが裏返し 文字のある面を上にする。
- ・CDの汚れがひどい クリーニングする。
- ・レンズに露く水滴 がついている CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。
- ・ファンクションスイッチを「CD」に合わせる。

音がとぶ。

- ・音量を下げる。
- ・CDの汚れがひどい クリーニングする。
- ・CDに大きな傷があるとき CDを取り換える。
- ・振動のない場所に置く。

ラジオ

雑音が入る。

- ・乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
- ・本機をテレビから離す。

テープ部

操作ボタンを押してもテープが動かない。

- ・カセットぶたをきちんと閉める。

●録音ボタンが動かない。テープが演奏されない。

- ・デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をゼロハンテープなどでふさぐ。
- ・ファンクションスイッチを正しい位置にする。

前の録音が完全に消えない。

- ・消去ヘッドをクリーニングする。
- ・乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

録音ができない。

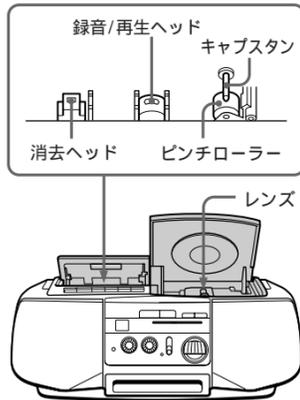
- ・カセットを正しく入れる。
- ・デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をゼロハンテープなどでふさぐ。

雑音が多い。音質がよくない。

- ・ヘッドが汚れている。市販の綿棒や柔らかい布にクリーニング液を軽く含ませて、右図に示されているテープが触れる面を軽くふく。
- ・ヘッドが磁化されている。別売りのヘッド消磁器を使ってヘッドを消磁する。

音が歪む。

- ・TYPEI(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)テープはお使いになれません。TYPEI(ノーマル)テープをお使いください。

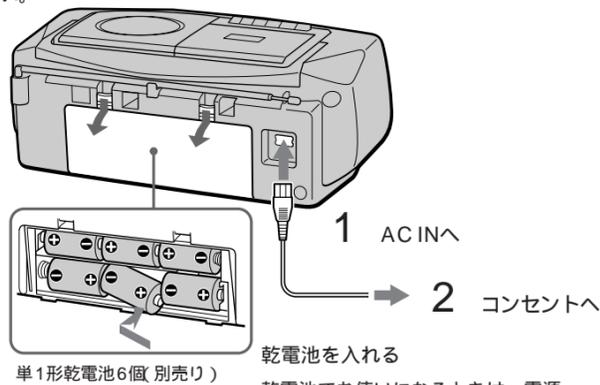


電源を準備する

録音するときには、電力消費量が大きいので、家庭用電源でお使いください。

電源コードを接続する

本機のAC INジャックへ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。



乾電池を入れる

乾電池でお使いになるときは、電源コードは抜いてください。

乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源/電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池を全て新しいものと交換してください。

ちょっと一言

乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて、傷つくおそれがあります。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下(EIAJ*)
周波数特性	20-20,000Hz+1/-2dB (EIAJ)

ラジオ部

受信周波数	FM/TV: 76-108MHz (1-3CH) AM: 530-1,629kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

カセットデッキ部・共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ: 10cm、 コーン型2.8Ω、2個
早巻き時間	約2分(ソニーカセットテープC-60使用)
周波数範囲	TYPEI(ノーマル)カセット 70-10,000Hz(EIAJ)
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニジャック)1個 負荷インピーダンス 16-68Ω
実用最大出力	2.5W + 2.5W (EIAJ/2.8Ω)
電源	家庭用電源 AC100V 50/60Hz) 単1形乾電池6個使用 (DC 9V)
消費電力	14W

電池持続時間

使用乾電池	ソニーニュースーパー R20P	ソニーアルカリ LR20
測定条件		
テープ再生時** (EIAJ)	約7.5時間	約15時間
FM録音時 (EIAJ)	約13.5時間	約20時間
CD再生時** (EIAJ)	約2.5時間	約7時間

* EIAJ: 日本電気機械工業会 規格による測定値です。

** 音量6分目程度

最大外形寸法 約425×160×246mm (幅×高さ×奥行き)

(最大突起部含む)(EIAJ*)

質量 本体 約3.4kg

ご使用時 約4kg(乾電池、CD、テープ含む)

付属品 電源コード(1)

取扱説明書(1)

保証書(1)

別売りアクセサリ

ヘッド消磁器 HE-6C

クリーニングキット KK-41

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

使用上のご注意

置き場所について

- ・本機やカセットテープ、CD等を次のような場所には置かないでください。
- ・磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- ・テレビの近く

取り扱いについて

- ・CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- ・本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
- ・ミ時計
- ・マイクロレットカードなどの磁気カード
- ・ミカセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- ・カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDの取り扱いかた

- ・文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- ・紙やシールなどを張ったり、傷つけたりしないでください。



CD ラジオ カセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CFD-S10

Sony Corporation © 1997 Printed in China

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも具合が悪いときはサービスへ お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

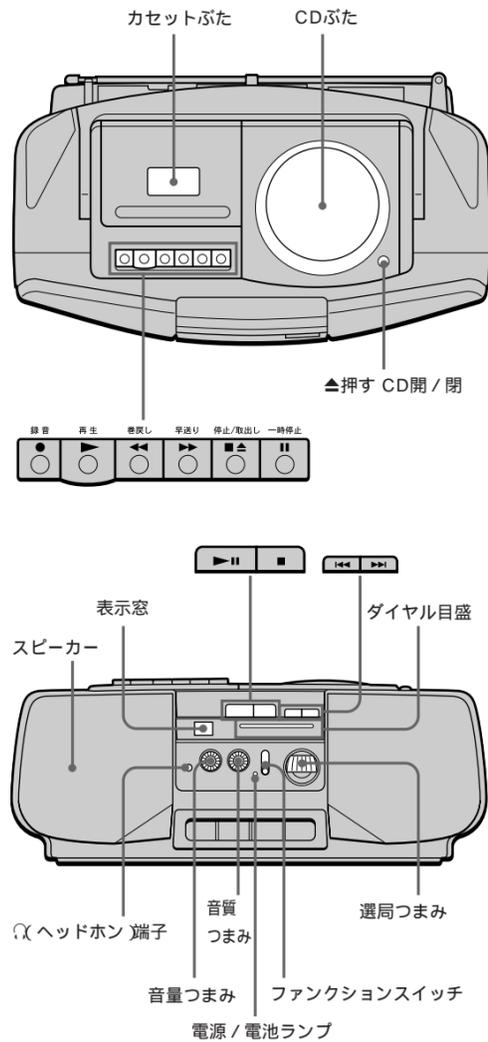
部品の保有期間について

当社ではCDラジオカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客ご相談センターへ
東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

各部のなまえ



録音についてのご注意

- ・ 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ・ CDラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

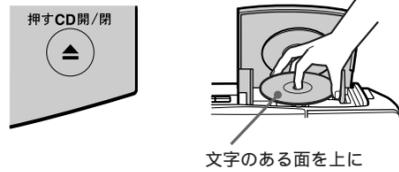
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

CDを聞く

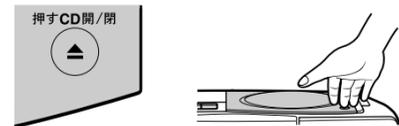
1 ファンクションスイッチを「CD」に合わせる。



2 ▲CD開/閉を押して、CDぶたを開け、CDを入れる。



3 CDぶたを閉める。



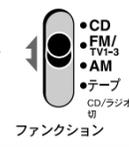
4 ▶▶ボタンを押す。再生が始まります。



こんなときは	操作のしかた
音量を調節する	音量つまみを回す。
音質を調節する	音質つまみを回す。
再生を止める	■▲ボタンを押す。
再生中に一時停止する	▶▶ボタンを押す。もう一度押すと演奏が始まる。
曲の頭に戻す	◀◀を押す。
次の曲へ進む	▶▶を押す。
曲の中の聞きたい部分を探す	再生中に▶▶または◀◀ボタンを押したままにする。
CDを取り出す	▲CD開/閉を押す。
電源を切る	ファンクションスイッチを「テープ(CD/ラジオ切)」に合わせる。

ラジオを聞く

1 ファンクションスイッチで、「FM/TV1-3」か「AM」を選ぶ。



2 選局つまみ回してを聞きたい放送局に合わせる。

FMステレオ放送の雑音が多いときは、自動的にモノラルになります。



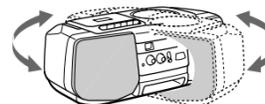
こんなときは	操作のしかた
音量を調節する	音量つまみを回す。
音質を調節する	音質つまみを回す。
ラジオを切る	ファンクションスイッチを「テープ(CD/ラジオ切)」に合わせる。

受信状態をよくする

FM(TV1~3ch)放送のとき
ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。



AM放送のとき
本体の向きを変える。



ご注意

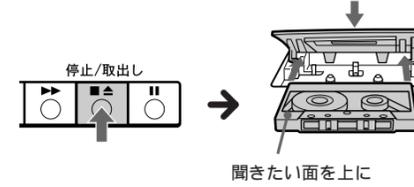
- ・ テレビの近くでAM放送を聞くと、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、FM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- ・ 本機のテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビの2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合には、お近くのソニ・サ・ビス窓口にご相談ください。

テープを聞く

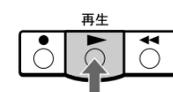
1 ファンクションスイッチを「テープ(CD/ラジオ切)」に合わせる。



2 ■▲ボタンを押し、カセットを入れる。



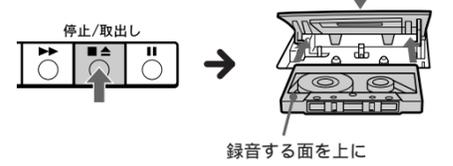
3 ▶ボタンを押す。



こんなときは	操作のしかた
音量を調節する	音量つまみを回す。
音質を調節する	音質つまみを回す。
再生を止める	■▲ボタンを押す。
早送りや巻戻しをする	▶▶または◀◀ボタンを押す。
再生中に一時停止する	ボタンを押す。もう一度押すと演奏が始まる。
カセットを取り出す	■▲ボタンを押す。

録音する

1 ■▲ボタンを押し、録音用カセットを入れる。



2 録音するものを選ぶ。CDを録音するときファンクションスイッチを「CD」に合わせ、CDを入れる。



ラジオを録音するときファンクションスイッチで、「FM/TV1-3」か「AM」を選び、録音する放送局を受信する。



3 ●ボタンを押す。▶ボタンが同時に押され、録音が始まります。



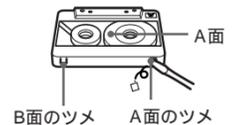
こんなときは	押すボタン
録音を止める	■▲
録音を一時停止する	
	もう一度押すと録音が始まる。

ちょっと一言

- ・ 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- ・ 安定した状態で録音するために、録音時には家庭用電源に接続してお使いください。
- ・ 録音した音を消去するには
 - 1 ファンクションスイッチを「テープ(CD/ラジオ切)」に合わせる。
 - 2 ●ボタンを押す。

大切な録音を守るー誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまいうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。